

S&P 500®

S&P500 は米国大型株の動向を表す最良の単一尺度として広く認められている株価指数です。同指数は米国株式市場の各セクターから選ばれた主要企業 500 社で構成されており、米国株式市場の時価総額の約 80%、世界の株式市場の約 50% をカバーしています。



米国大型株の
動向を表す
株価指数

S&P Dow Jones
Indices

A Division of [S&P Global](#)

指数に連動する資産

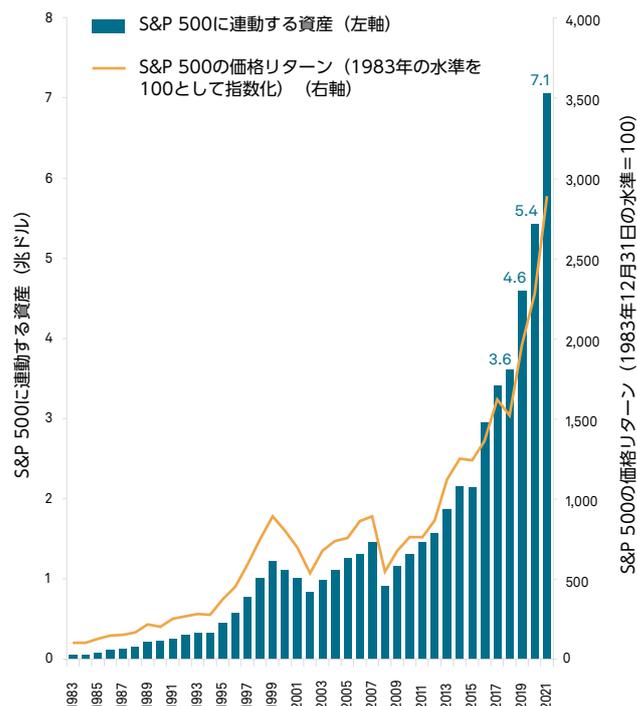
指数連動型ファンドは透明性が高く、シンプルかつ低コストであり、アクティブ運用ファンドと比べて様々なメリットがあります。インデックス運用が拡大している中で、投資家は運用手数料を節約し、アンダーパフォーマンスを避けることが可能となっています。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス（以下、「S&P DJI」という）の推定によると、S&P 500 に連動する資産、または S&P 500 をベンチマークとする資産は 2021 年末時点で 15 兆 6,000 億ドルに上っており、このうち、同指数に連動する資産（パッシブ運用資産）は 7 兆 1,000 億ドルとなっています。

「**指連動資産の年間サーベイ（2021 年）**」の要旨：

- 1995 年以降、指数に連動する資産の伸び（11.1%の年平均成長率（CAGR））は S&P 500 の価格リターン（8.2%の年平均成長率（CAGR））を上回っており、このことは資金流入が大幅に増加していることを示している。
- 2008 年以降、S&P 500 に連動する資産は急増した（2008 年時点で、S&P 500 に連動する資産は約 1 兆ドルであった）。
- 2021 年だけで、S&P 500 に連動する資産は 30% 増加した。

S&P 500 に連動する資産の推定額と S&P 500 の価格リターン



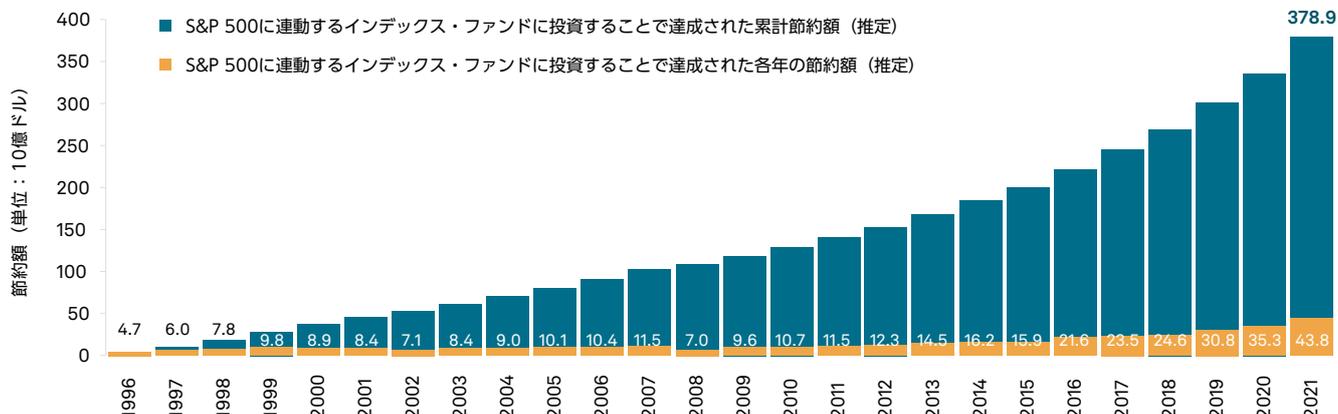
出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC。2021 年 12 月 31 日現在のデータ。図表は説明目的のために提示されています。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。詳細については、Indexology® ブログ「[The Importance of Being Indexed](#)」を参照ください。

S&P 500 に連動したインデックス・ファンドによる運用手数料の節約

1970 年代にインデックス・ファンドが登場して以降、パッシブ投資の運用資産残高は飛躍的に増加しています。インデックス・ファンドは現在、世界の金融市場において大きな役割を果たしています。多くのアクティブ運用ファンドがパッシブ・ベンチマークをアウトパフォームできておらず、このことがインデックス運用の拡大につながっていると考えられます。

毎年の運用手数料の節約額を推定するため、ここではアクティブ株式ミューチュアル・ファンドと指数連動型株式ミューチュアル・ファンドの経費率の差を計算し、S&P 500 に連動する資産の総額にこの差を乗じます。この結果を集計すると、**過去 26 年間にわたる運用手数料の累計節約額は 3,790 億ドルにも上ります。**

S&P 500 に連動するインデックス・ファンドに投資することで達成された運用手数料の推定節約額（単位：10 億ドル）



出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC のお客様報告データ、eVestment、モーニングスター、及びインベストメント・カンパニー・インスティテュート (ICI) の 2022 年版 **投資家ファクトブック**。2021 年 12 月 31 日現在のデータ。図表は説明目的のために提示されています。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。サーベイにおける計算方法の詳細については、「[S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの『指数連動資産の年間サーベイ』](#)」を参照ください。メソッドロジックは随時変更されています。

インデックス・ファンドをアウトパフォームすることは困難

ほとんどのアクティブ運用米国大型株ファンドは S&P 500 をアンダーパフォームしている

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは 2002 年に初めて (SPIVA®) 米国スコアカードを発行しました。それ以来、当社はこのスコアカードを年 2 回のペースで発行しており、このスコアカードはパッシブ運用とアクティブ運用の議論において高い注目を集める調査となっています。

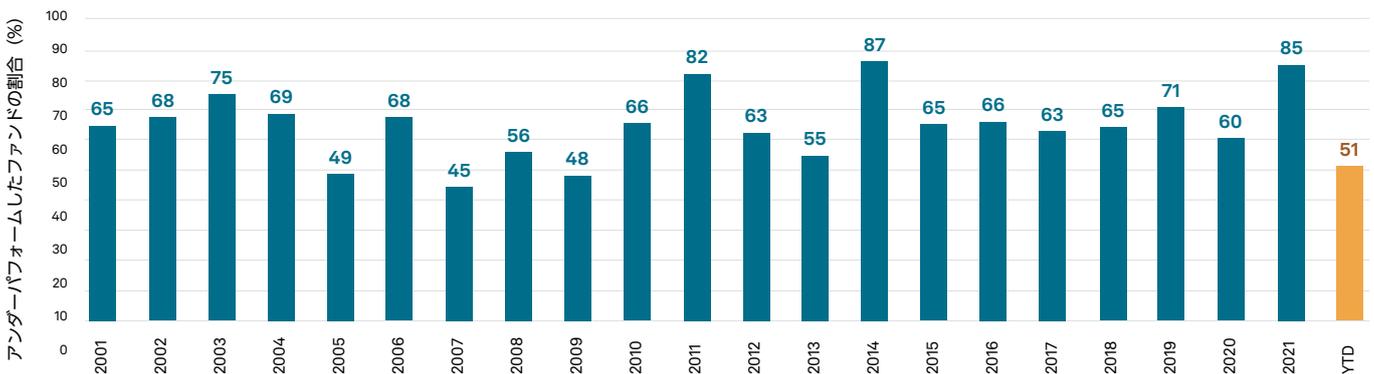
以下の図表に示されているように、過去 21 年間のうちの 18 年間に於いて、アクティブ運用の米国大型株ファンドの 50% 以上が S&P 500 をアンダーパフォームしています。

パフォーマンスを比較する期間が長ければ長いほど、アクティブ運用ファンドがベンチマークをアウトパフォームする確率は低下します。このことは、アクティブ運用ファンドがベンチマークを継続的にアウトパフォームすることが困難であることを示しています。

2022 年 6 月 30 日までの 20 年間に於いて、米国大型株ファンドの 95% が S&P 500 をアンダーパフォームしました。

S&P 500 をアンダーパフォームしたアクティブ運用米国大型株ファンドの割合

各年の割合 (絶対リターンに基づく)



出所: S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、CRSP。2022 年 6 月 30 日現在のデータ。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。図表は説明目的のために提示されています。

過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではない

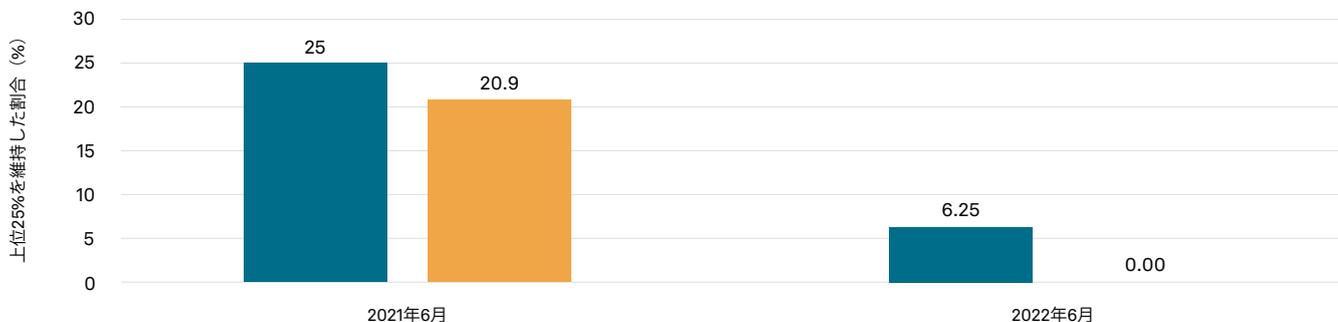
SPIVA スコアカードの他に、S&P DJI は持続性スコアカードも作成しており、これは運用成績の良いアクティブ運用ファンドが継続的に他のファンドをアウトパフォームできるかを評価する調査です。

以下の図表では、2020 年 6 月時点で成績上位 25% に入っていたアクティブ運用大型株ファンド (163 ファンド) の

運用実績を示しています。これらのファンドが継続的に他のファンドをアウトパフォームできる確率は、52 枚のトランプからカードを引き、それがハートである確率の累積値よりも低いとの結果となりました。2020 年 6 月時点で上位 25% に入っていたファンドの中で、その後 2 年連続で上位 25% を維持できたファンドは 1 つもありませんでした。

アクティブ運用ファンドが継続的にアウトパフォームすることは非常に困難

■ 52枚のトランプからカードを引き、それがハートである確率の累積値 ■ 上位25%を維持したアクティブ運用ファンド



出所: S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、CRSP。2022 年 6 月 30 日現在のデータ。「米国持続性スコアカード」から引用されており、数値はレポート 1 から引用されています。

成績上位 25% に入っていた米国株ファンドのパフォーマンスの持続性を 3 年間にわたり (12 ヶ月の期間を 3 期連続で) 評価した結果です。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。図表は説明目的のために提示されています。青色の棒グラフについては、52 枚のトランプの中に、ハート、クラブ、ダイヤ、及びスペードの 4 種類のカードがそれぞれ 13 枚ずつあると想定しています。52 枚のトランプから 1 枚のカードを引いた場合、どの種類のカードが選ばれる確率も 13/52、または 1/4 となります。成績上位 25% に入っていたファンドの中で、その後 2 年連続で上位 25% を維持できたファンドは 1 つもなく、ランダムにカードを引いて、それがハートである確率の累積値 (25% * 25% = 6.25%、または 1/16) よりも低い確率 (0.00%) となりました。

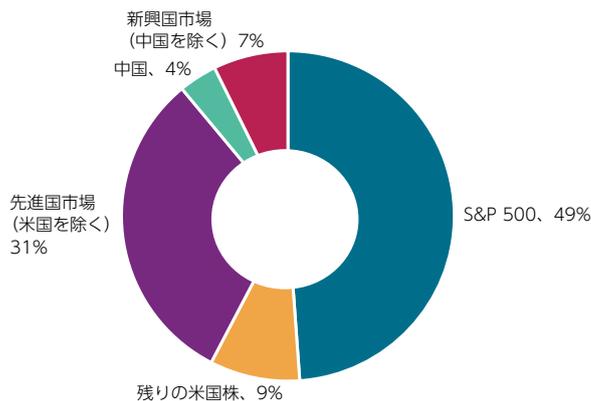
S&P 500は歴史のある指数

S&P 500 は、世界の株式市場の時価総額の約 50% をカバーしています。

世界における大型の上場投資信託 (ETF) やミューチュアル・ファンドの多くが S&P 500 に連動しています。S&P 500 は、**指数先物やオプションを含む巨大かつ複雑な取引エコシステムを支えています。**

S&P 500 の算出が開始されたのは **65 年以上前** のことであり、長い歴史を持つ由緒ある指数となっています。S&P 500 のリターンと構成銘柄を分析することにより、米国株式市場の変遷や、歴史の節目における株価動向に関する理解を深めることができます。

世界の株式市場の時価総額



出所:S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC。2022 年 12 月 30 日現在のデータ。図表は S&P 500、S&P グローバル総合指数 (BMI)、及びそのコンポーネント指数の時価総額に基づいています。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。図表は説明目的のために提示されています。

S&P 500の構築

S&P 500 は、ニューヨーク証券取引所 (NYSE) やナスダック (NASDAQ) に上場している銘柄の中で指数採用基準を満たしている銘柄のパフォーマンスを測定するように設計されています。S&P 500 は浮動株調整後時価総額により加重されており、銘柄選択プロセスでは流動性や取引可能性に関する基準も適用されます。

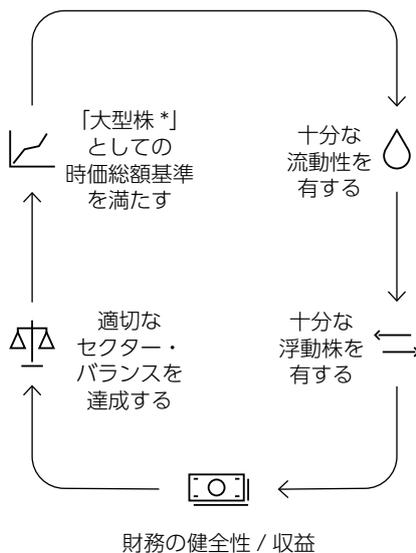
指数委員会による監視

構成銘柄及び加重方法

500 社

浮動株調整後時価総額加重

適格性基準



世界産業分類基準 (GICS®) のセクター分類



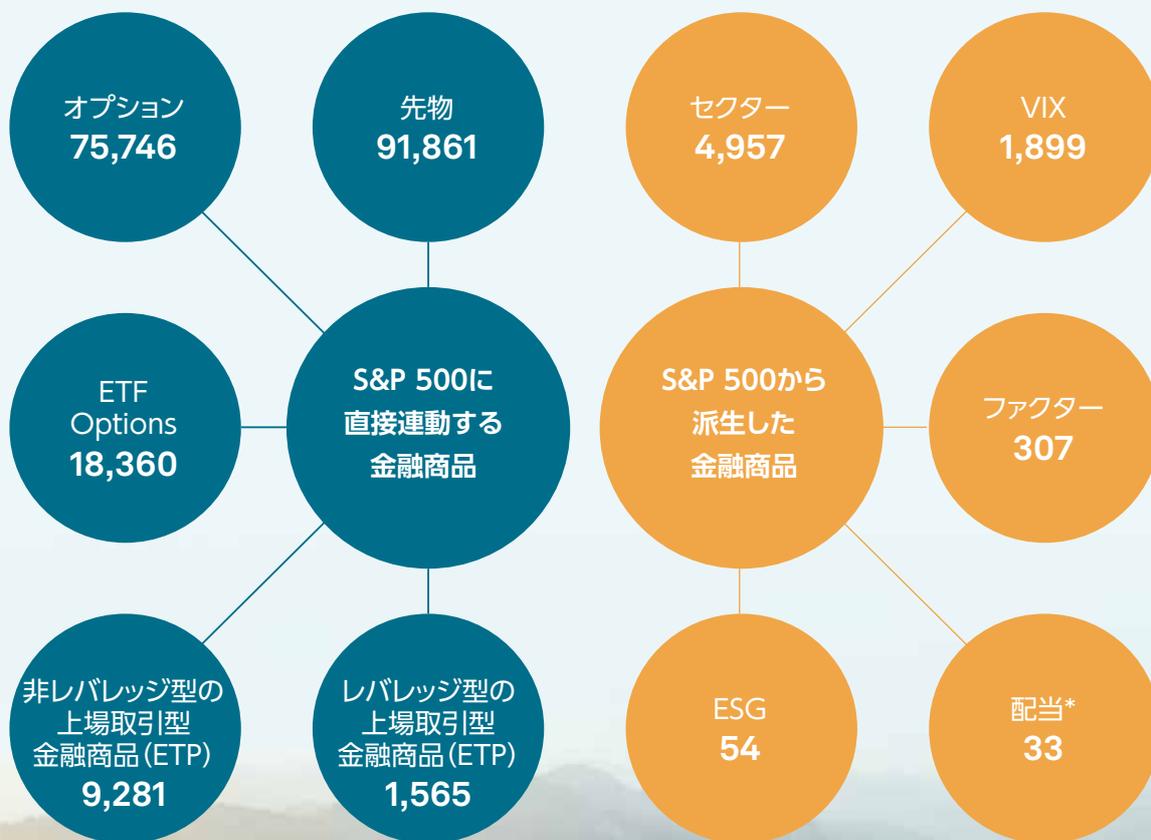
* 指数委員会が必要に応じて S&P コンポジット 1500 の時価総額ガイドラインの見直しを行っています。適格性基準に関する詳細については、[米国株価指数メソドロジー](https://www.spglobal.com/spdji/en/governance/) を参照ください。S&P DJI のガバナンス・プロセスについて知りたい方は、<https://www.spglobal.com/spdji/en/governance/> をご覧ください。

S&P 500 の取引エコシステム

S&P 500 は、様々な商品タイプや関連指数を含む巨大な取引エコシステムの中核にあります。S&P 500 の取引は、様々な商品タイプ（下図の左側の部分：先物、オプション、及びETF オプション）及びエクスポージャー（下図の右側の部分：セクター、VIX に基づく戦略、及びファクター）から成るネットワークを支えています。

2021 年において、S&P 500 に連動する商品から成るエコシステムは**指数換算で 197 兆ドルの取引量**を生み出しました。下図はその内訳を示しています。当社の調査によると、指数に基づく金融商品を投資家が選ぶ際には、指数に関連する金融商品の取引量を重要な要素として考慮する傾向があります。これは、金融商品の**流動性が高ければ、売り呼び値と買い呼び値のスプレッドが小さくなり**、結果としてベンチマークに**密接に連動**することができるためです。

指数換算の 1 年間の取引量 (単位：10 億ドル)



出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、米国先物取引業協会 (FIA)、ブルームバーグ。2021 年 12 月 31 日現在のデータ。[A Window on Index Liquidity]、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス (2019 年) からアップデートされたデータを示しています。数値の単位は 10 億ドルであり、指数換算の取引量を示しています。図表は説明目的のために提示されています。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。*2019 年において、指数配当は配当ポイント指数に着目していました。一方、新たな配当カテゴリーには、配当をテーマとした金融商品（例えば、配当貴族、高配当、低ボラティリティ高配当などの S&P 500 配当ファミリー）も含まれています。データソースは最初のレポートの発行時から変更されています。詳細については「Mapping the S&P 500 Trading Ecosystem」を参照ください。

S&P 500 に基づく指数シリーズ

S&P 500 は複数のフラグシップ指数の基礎となっています



米国コア株式

S&P 500 上位 50 及び S&P 100 は超大型株指数であり、S&P 500 のサブセットとなっている。

S&P コンポジット 1500[®] は、S&P 500、S&P 中型株 400[®]、及び S&P 小型株 600[®] を組み合わせた指数である。



均等加重

S&P 500 均等加重指数は、各リバランス時点で、S&P 500 の各構成銘柄に対して同じウェイトを割り当てる指数である。



ファクター

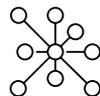
S&P 500 のシングル・ファクター指数及びマルチ・ファクター指数は、サイズ、モメンタム、クオリティ、低ボラティリティ、及び配当といった主要なファクターに連動する。



サステナビリティ

S&P 500 ESG 指数は幅広いセクターをカバーする浮動株調整後時価総額加重指数である。サステナビリティ基準を満たしている証券のパフォーマンスを測定する一方で、S&P 500 の各産業グループと同様のウェイトを維持するように設計されている。

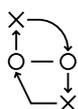
ESG に関する様々な投資家のニーズに対応できるよう、この指数は複数の S&P ESG サブ指数で構成されている。



セクター及び産業

S&P 500 セクター指数は世界産業分類基準 (GICS[®]) に従っている。GICS は 4 つの階層で構成される産業分類システムであり、各企業は主要な事業活動に基づいて分類される。

S&P 500 は、セレクト・セクター™指数 やセレクト産業指数の基礎としての役割を果たす。

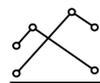


スタイル

当社のスタイル・シリーズには、S&P 米国株価指数に基づくスタイル指数と、属性ごとに分類したピュア・スタイル指数がある。

スタイル：S&P 500 グロース 及び S&P 500 バリュース

ピュア・スタイル：S&P 500 ピュア・グロース 及び S&P 500 ピュア・バリュース



ボラティリティ

CBOE ボラティリティ指数 (VIX[®]) は、近い将来における米国株式市場の価格変動の予想範囲を表すものであり、投資家のセンチメントをリアルタイムで反映する。



S&P PACT™ 指数 (S&P パリ協定準拠及び気候変動指数)

これらの革新的な指数は、一定基準を満たした株式のパフォーマンスに連動するように設計されており、1.5℃の地球温暖化シナリオや、その他の気候テーマ目的に適合するように銘柄が選択・加重される。

S&P PACT 指数は、S&P パリ協定準拠 及び 気候変動指数などの様々なフラグシップ指数をカバーしている。

S&P 500 に基づく全ての株価指数については、www.spglobal.com/spdji を参照ください。

S&P 500の歴史

65年以上の歴史を持つ米国の代表的な株価指数

1923年

スタンダード・スタティスティクス・カンパニー（現在のS&Pグローバル）がS&Pコンポジット指数を開発

26の産業から選ばれた233銘柄を対象に毎週算出される時価総額加重指数

1957年

90銘柄を対象とした総合株価指数に代わり、S&P 500が誕生

44.22ポイントで取引が開始

1976年

S&P 500に基づく米国初の個人投資家向けインデックス・ファンドが誕生

1983年

インデックス連動型オプションが登場：

インデックス連動型オプションがシカゴ・オプション取引所（CBOE）に上場

3月11日：S&P 100

7月1日：S&P 500

1993年

S&P 500に連動する米国初の上場投資信託（ETF）が誕生

2003年

S&P 500均等加重指数に基づく世界初の均等加重ETFが誕生

1926年

S&P 90：90銘柄を対象に毎日算出される時価総額加重指数

1973年

ウェルズ・ファーゴが、S&P 500に基づく米国初の機関投資家向けインデックス・ファンドの1つであるステージコーチ・ファンドを開発

1982年

米国初のインデックス連動型先物が登場：

シカゴ・マーカンタイル取引所（CME）にS&P 500先物が上場

1986年

取引時間内における指数の算出頻度を1分毎から15秒毎に短縮

現在の算出頻度は1秒毎

1999年

MSCIと提携し、世界産業分類基準（GICS®）を共同開発

2004年

米国初のボラティリティ派生商品であるVIX先物がシカゴ・オプション取引所（CBOE）に上場

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC。表は説明目的のために提示されています。詳細については、<https://www.spglobal.com/spdji/en/index-linked-products/> を参照ください。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、当社の指数に基づく商品を提供、推奨、販売、または宣伝することなく、特定の投資の推奨度について表明することはありません。

最新のリサーチ、教育、
及びコメントを
配信しています。

最新インデックス運用に関する最新情報をご希望の方は、
on.spdji.com/signup で登録してください。



S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスについて

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、様々な資産クラスに関する高度な専門知識を駆使し、世界各国の代表的な株価指数を算出するとともに、お客様のニーズに対応した革新的な指数ソリューションを提供しています。当社は、世界の資本市場に透明性をもたらすことにより、個人や企業、政府が自信を持って投資判断を行うことができるように支援しています。当社は、指数ベースのコンセプト、データ、及びリサーチを提供する世界最大のグローバル・リソース企業であり、S&P 500® 及びダウ・ジョーンズ工業株平均® といった金融市場の代表的指標を算出しています。当社の指数に基づく金融商品に投資される資産額は、世界の指数プロバイダーの中で最大規模となっています。当社の指数に連動するパッシブ運用資産の総額は7兆4,000億ドルを超えており、当社の指数をベンチマークとする運用資産の総額は11兆3,000億ドルを超えています。当社のソリューションは、市場のパフォーマンスの監視、ポートフォリオの評価、及び投資戦略の策定などにおいて不可欠であると広く認められています。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、S&P グローバル (NYSE:SPGI) のグループ会社です。S&P グローバルは、世界の資本市場、コモディティ市場、及び自動車市場において、信用格付け、ベンチマーク、アナリティクス、及びワークフロー・ソリューションを提供する世界有数の金融サービス会社です。刻々と変化する経済情勢の中で、世界の多くの大手企業や主要機関が適切な将来計画を策定できるよう、当社は一つ一つのサービスを通じて支援を行っています。詳しい情報については、www.spglobal.com/spdji をご覧ください。

お問い合わせ先

| | | | | |
|-----------------|-------------------|-------------------|------------------|------------------|
| 米国 | 欧州・中東・アフリカ | アラブ首長国連邦 | アジア太平洋 | インド |
| +1-877-325-5415 | +44-20-7176-8888 | +971(0)4-371-7131 | +86-10-6569-2770 | +91-22-2272-5312 |
| 日本 | オーストラリア | ラテン・アメリカ | 南アフリカ | |
| +81 3-4550-8564 | +61 2-9255-9802 | +52 55-1037-5290 | +27-11214-1994 | |

index_services@spglobal.com

著作権 © 2023 年、S&P グローバル・インクの一部門である S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス。不許複製・禁無断転載。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスまたはその関係会社の書面による事前の許可なしに、フレーミングまたは類似の方法によるものを含め、コンテンツを複製または配布することは禁止されています。本内容は「現状有姿」で提供されています。

spglobal.com/spdji/en

IN-GEN-2351950